

第31期第3回小田原市図書館協議会会議録

- 1 日 時 平成27年5月29日（金） 午前9時57分～午後0時13分
- 2 場 所 小田原市郷土文化館 会議室
- 3 出席者 宮崎委員長、野口副委員長、宮内委員、大塚委員、益田委員、
田先委員、村上委員
諸星文化部長、杉崎文化部副部長、古矢図書館長、三樹副館長、北村副館長、
穂谷野管理係長、野村サービス係長、小野サービス係長、星崎主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 内 容
 - (1) あいさつ
諸星部長からあいさつ
 - (2) 職員紹介
平成27年4月1日付けで図書館に異動してきた、北村副館長と三樹副館長が、自己紹介
 - (3) 市立図書館視察
※ 市立図書館の視察については、一般の利用者が入ることができない閉架書庫などの設備も視察箇所に含まれているため、この議題のみ非公開で開催したい旨、図書館長から説明をし、各委員に了承されたため、非公開で実施された。
視察に先立ち、館長、北村副館長、野村係長から、星崎定五郎氏の理念、市立図書館の建設の経緯、蔵書数の現況等、概要について説明を行い、質疑応答の後、市立図書館の視察を実施した。

(田先委員) 閉架図書のマイクロフィルム化は、どのくらい進捗しているのか。

(野村係長) マイクロフィルム化は、貴重資料に対し行っており、図書については、デジタル化や保存処理などは行っていない。

(田先委員) 貴重資料のマイクロフィルム化は、どのくらい進捗しているのか。

(野村係長) 平成20年度から着手し、毎年、1,000点から2,000点をマイクロフィル

ム化している。

(委員長) 他に質問はないようなので、これより市立図書館の視察を実施する。

※ 市立図書館の視察は、野村係長の案内により、1階児童室・こどもクラブ室、3階一般室、閉架書庫、2階地域資料室の順に行われた。

(委員長) かつてと比べると、ずいぶん整理され、見やすくなっているという印象がある。各委員、質問などあるか。

(各委員から、質問なし。)

(星崎主査) ここから先の議題は公開となるが、ただいまのところ、傍聴希望者はいない。

(4) 報告

1) 平成26年度図書館関連議会報告について

「資料1」にもとづき、穂谷野係長から説明を行った。

(委員長) ただいまの説明に対し、各委員、質問などあるか。

(各委員から、質問なし。)

2) 図書館行事の結果について(3月中旬～5月上旬)

「資料2」にもとづき、小野係長から説明を行った。

(委員長) 3月21日から5月10日まで開催された、藤田湘子の特別展であるが、参加者2,265人というのは、俳句大会の参加者なのか。

(館長) 文学館の展示会場に来られた人数である。俳句大会は、市、鷹俳句会、小田原俳句協会が主催し、全国からお弟子さんが集まった。ご遺族からも、ゆかりの資料が市へと寄贈された。通常の文学館特別展よりも、情報発信が活発に行われた特別展であった。

(委員長) この来場者人数は、画期的だと思う。文学館は、一般市民の方はあまり足を運ばない施設かもしれないが、図書館所管の施設として、今後も宣伝され

るとよいと思う。

(委員長) 小田原邸園めぐりは、参加者4人であるが、ガイドはついていたのか。

(野村係長) お見込みのとおり。小田原邸園めぐりは、文学館、松永記念館、清閑亭の利用向上と、まちづくりの貢献を目的に、年に複数回、連携行事を行っている。

昨年の春にも同様の行事を行った。秋には十三夜として、連日、関連行事を夜間に行った。小田原ちょうちんを外にかざし、月は出ていなかったものの、お月見の雰囲気を楽しむことができた。

(委員長) 図書館行事として企画したのか。

(野村係長) 図書館施設として、開催したものである。

3) 平成27年度図書館行事予定について

「資料3」にもとづき、小野係長から説明を行った。

※ 以下の4点については、補足説明を行った。

- ① 手作り絵本講習会は、小学生が対象。
- ② 布の絵本展は、昨年度までと違い、講習会に先立ち開催。
- ③ セピア色の写真展については、戦後70年の企画を検討しているので、開催時期が3月から変更される可能性あり。
- ④ 10月の西海子サロンについては、従来どおりの形式で実施するか検討中。

(委員長) セピア色の写真展は、2回に分けて実施するようだが、場所が変わるのか。

(館長) かもめ図書館ともう一箇所で開催することを検討している。昨年度は、かもめ図書館とハルネで開催した。今年は、戦後70年の企画を検討しており、かもめ図書館以外の場所については、未定である。

(委員長) 今年度は、11月に図書館総合歴史講座を開催するのか。

(野村係長) まだ、仮日程である。図書館所有の歴史資料の紹介も兼ねて、講演していただく予定である。

(館長) 昨年度は、小田原ゆかりの皇族閑院宮載仁親王と昭和天皇について、開催した。昭和天皇実録と時期的に合っていたため、多くの方にご参加いただけた。

(委員長) 今年度も、収蔵庫の中にある歴史資料が紹介される講座になることを願う。

(副委員長) 6月・7月に開催される、「図書館子どもクラブ」と7月に開催される「一日図書館員」の事業の違いは何か。

(小野係長) 対象となる子どもなどに違いがある。詳細については、調べた後、改めて回答する。

(館長) 「図書館子どもクラブ」は、連続講座となっており、「一日図書館員」は、一日で完結する事業となっている。

なお、中学生などの職場体験事業は、年間を通して受け入れをしている。

(委員長) 参加者の募集については、学校を通して行っているのか。

(小野係長) 対象となる小学校へ案内チラシなどを配付するほか、市の広報誌にも募集記事を掲載している。

(委員長) 学校の図書館司書に、ぜひ、ご協力いただきたいと思う。司書に一声かかっていると、子どもたちも受講してみたいと考えるようになる。

(小野係長) 先ほど、小学校へ案内チラシを配付していると説明したが、補足すると、校長先生と学校図書室あてに送付している。

4) 駅前図書施設について

「資料4」にもとづき、三樹副館長から説明を行った。

※ 以下の3点については、補足説明を行った。

- ① 8月の中間報告の時点で、面積や蔵書数について、目安となるものを提出できるようにしたい。
- ② 本案件については、都市部とのかかわりがあるので、進捗状況を見ながら、連絡を密にして事務を進めたい。
- ③ 図書館協議会各委員からご意見をいただきながら、施設の機能などについて、検討していきたい。

(大塚委員) 本業務の受託業者は、どこになるのか。

(三樹副館長) 業者の選定については、同様の業務の経験があること、図書館に特化した業務をしていることなどを考え、株式会社図書館流通センター（以下「TRC」という。）とした。契約準備については、ほぼ完了している。

(委員長) 契約は、これからということか。

(三樹副館長) 6月上旬を予定している。

(委員長) 8月の中間報告は、市に対して出されるのか。

(三樹副館長) この間に、図書館の先進事例や、受託者の蓄積されたノウハウなどを市に対して助言いただき、目に見える形で、提出していただくことになる。

8月までの間に、受託者とコンタクトを密に取りながら、中間報告を受けたいと考えている。

(田先委員) 図書館からの最終報告は、3月末なのか。

(三樹副館長) 都市部などとの調整による、進捗状況やタイミングによるところがある。3月末の最終報告というのは、本業務について、受託者から市への最終の報告書が提出される時期である。

(副委員長) TRCが係わっている案件以外の事例も、報告書などには含まれるのか。

(三樹副館長) お見込みのとおり。本市が望んでいる形の図書館の事例を報告書などに含めていただく。

(委員長) 駅前の再開発ビルの調整を同時に行うのか。

(館長) 都市部との調整を行いながら、情報を出しつつ、事務を進めることになると考えている。図書館はこうしたいと都市部に提出する。都市部は、市民に意見を求めることもあるかと思う。図書館だけがやみくもに要望するのではなく、都市部と調整しながら進めていくことになる。そのため、図書館の要望が100%実現するわけではない。

(委員長) 受託者にとっては、最終報告は、3月より早い時期のほうがよいという考えもあるかもしれないが、駅前の再開発事業と関連しているので、都市部との連携は重要である。

(三樹副館長) 駅前図書施設について、再開発ビル内への設置ありきと考えられたかもしれないが、念頭にはあるものの、決定事項ではないことを念のため申し添える。

(益田委員) 再開発ビル以外の例えば旧丸井のビルなど検討しているのか。

(三樹副館長) そのようなことを並行して考える必要はあると思う。

(館長) 図書館の計画は、想定した中で、事務を進めている。都市部は、再開発ビルに図書館を設置することを最終確定しているわけではない。図書館としても、再開発ビルへの図書館設置を第一と想定しているということである。

(田先委員) そうすると、前回協議会での館長説明から、変化はしていないということか。

(館長) お見込みのとおり。

(三樹副館長) 再開発ビルに公共施設が入る計画であるが、その公共施設として、図書館が有力候補となっている。しかし、再開発ビルの事業者が、ビルのテナントをどう考えるかにかかっているので、再開発ビルに設置されることが確定ではないのである。

(副部長) 再開発ビルの事業者は、まだ、どこが実施するか決まっていない。図書館としては、多くの人々に利用していただきたいと考えているので、この再開発ビルに入りたいと手を挙げているところである。しかし、再開発ビルについては、大元から決まっていないので、図書館が入りたいと言っている、他の施設がはいってしまうかもしれない。

夏以降、議会報告などが行われると思うが、情報収集などに努めたい。図書館としては、うまく再開発ビルに入りたいと考えている。

(部長) 再開発ビルの中に、図書館が入ると考えていただいてよいが、再開発ビルの

事業スキームが分かりにくい。デベロッパーが決まって、将来、採算性が見込めるのか考えることになるが、その結果がどうなるかは分からない。過去の再開発事業においては、着工直前で、デベロッパーが倒産することがあった。

再開発事業は、市の土地に市の予算でビルを建てるわけではないので、市が単独でできる話ではない。それに、まだ、いろいろなことが決定される時期でもない。

今は、順調に進んでいるようだが、図書館の中身まで都市部が考えてくれるわけではないので、このことは、図書館自身が考えることになる。

いずれにせよ、今のところは、駅前の再開発ビルの中に、図書館ができるというように考えていただいてよい。

(委員長) 少し安心した。このような報告は、今後も継続していただきたい。

(村上委員) 広さや蔵書数が決定されないと、星崎定五郎氏の意向で児童関連でどのくらい、大人や高校生でどのくらいの広さが必要になるか、進められないと思うが。

(副部長) 現時点での想定数値はあるが、受託者と意見を交わしながら、決定していきたい。

(田先委員) 事業者は、8月くらいに決まるのか。

(副部長) 9月以降に募集されると想定されている。

(田先委員) 事業者選定は、年明け以降になることもあるのか。

(副部長) お見込みのとおり。

(委員長) ハード面の前に、ソフト面についていろいろ決めていきたいと図書館は考えているようである。駅前図書施設については、受託者とよくコミュニケーションを取って、進めていただきたい。当協議会第29期の答申書が参考になる。昨年度の第1回協議会で資料として配付されているので、確認していただきたい。

駅前図書施設については、継続して報告などをお願いしたい。

(5) その他

図書館子どもクラブと一日図書館員の違い、子ども読書活動推進計画、今後の関連事業について、事務局から説明を行った。

(小野係長) 図書館子どもクラブと一日図書館員の違いについて、補足説明させていただく。

図書館子どもクラブは、定員6名で、10時から正午までの間、3日間にわたり実施され、館内見学、本の探索、カウンター業務の手伝いなどといった図書館の仕事を体験してもらう講座で、いわゆる初級編である。

一方、一日図書館員は、定員が10名程度で、10時から15時までの間、本の購入・受け入れの手伝い、装備、データ入力、配架、カウンター業務の手伝いなどを1日体験してもらう講座で、いわゆる中級編である。

(北村副館長) 次回の協議会については、9月中旬から下旬ころの開催を考えている。改めて、調整させていただきたい。

次に、本市では、平成22年に「子ども読書活動推進計画」を策定したが、策定から5年になるので、見直しを検討している。まず、実態を知るためアンケート調査を実施する予定だが、まず内容を精査し、今年9月にアンケートを実施、11・12月で集計し、来年1・2月で分析を行い、3月に「子ども読書活動推進計画」を見直す予定である。

今回、図書館関連の各行事のチラシを配付させていただいた、ぜひ、足をお運びいただきたい。

(大塚委員) 「子ども読書活動推進計画」のアンケートであるが、実施対象は、どこになるのか。

(北村副館長) 正式には決まっていないが、学校や、幼稚園を考えている。小学生中学年から中学生については、本人に、幼稚園児と小学生低学年については、保護者を対象に実施したいと考えている。

(部長) まだ、企画段階であるが、関連行事についてお知らせしたい。

今年は、戦後70年である、図書館の視聴覚資料の中に、昭和16年に撮影された防空訓練の映像時間13分のDVDがある。国道一号線で訓練が行われたようであるが、戦時下の小田原を知ることができる資料である。郷土文化館では、十字地区にお住まいのご高齢の方に、当時の様子の聞き取り調査もさせていただいた。

8月29日土曜日を想定しているが、シネマトピア、映画祭の事業として実

施することを予定している。

また、視覚障害者の方と相談しながら上映作品を選ぶ、視覚障害者の方の映画会を年1回開催している。健常者の方にも、ご覧いただきたいので、周知などについてご協力いただきたい。上映作品などについては、これから各団体と相談させていただく。

(委員長) 視覚障害者の方の映画会は、図書館が会場になるのか。

(部長) 会場は、かもめ図書館視聴覚ホールである。

終了